

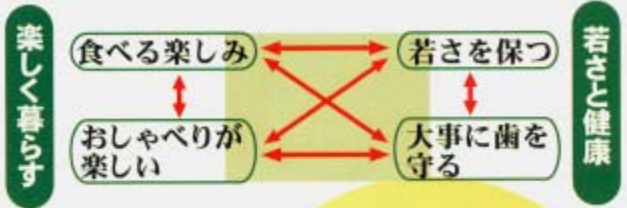
入れ歯の知識

元気に明るく
暮らす
知っておきたい



入れ歯について

どうして入れ歯が必要なのか？



歯がないとどうなりやすいか？



入れ歯が出来るまで

部分入れ歯について

入れ歯

1. 診断



2. 型をとる

3. かみ合わせを採る

4. 義歯を作る

5. 装着

6. 調整



今は道具や材料がよくなり、技術が進歩したことで、患者さんの求める入れ歯を作ること、可能になってきております。但し、患者さんの口腔内の状態により、限られた方法になりますので、患者さんの要望をしっかりと先生に伝えて、先生とご相談していただくことをおすすめします。

取り外しの入れ歯について

種類は、大きく分けて樹脂主体の入れ歯と金属主体の入れ歯に分かれます。



樹脂主体の入れ歯について

樹脂主体の入れ歯は、異物感を感じやすく、異物感をなくそうとすると強度が落ちやすい傾向があります。

金属主体の入れ歯について

金属主体の入れ歯は、熱を伝えやすいことと曲げ強度が強い分だけ異物感を軽減して、患者さんの要望を取り入れることが可能です。

自分に合った“いい入れ歯”のために



いい入れ歯

患者さんの希望にあった入れ歯は歯科医師の指示で歯科技工士が製作しております。

患者さんにとって“いい入れ歯”ができますように、先生に希望をお気軽にご相談する事をおすすめします。

入れ歯を清潔に保つために

入れ歯は自然歯よりも雑菌が繁殖しやすいものです。年をとると、唾液の分泌が少なくなって、自浄作用が低下します。又、入れ歯の形は複雑なため、不衛生になりやすいのです。義歯性口内炎や口臭も起こりやすくなります。いつも入れ歯を清潔に保つことが大切です。

入れ歯の汚れやすいところ

総入れ歯



部分入れ歯



毎食後入れ歯を洗いましょう

入れ歯に使用している樹脂は吸水性があるので汚れやすいからです。

高齢社会を担う 歯科技工士



日本の社会はいま高齢化の真っ最中です。2020年には、4人に1人は65歳以上の高齢者という「高齢社会」になります。

これからの本格的な高齢社会の到来に向けて、失われた歯を復元する歯科技工技術への需要はますます大きく広がっていきます。

健康で美しい歯は、健康な体と魅力的な表情を作ります。

歯科技工士は、このかけがえない人生の財産を守るために、よりよい技術の提供につとめています。



お問い合わせ先 (社)東京都歯科技工士会

〒169-0051 新宿区西早稲田2-18-21
TEL (3202) 9551 FAX (3202) 9552